# 令和4年度 TURE-TECH(ツレテク)実施結果報告











令和 5 年2月 人事秘書課 (嘉麻市^TURE-TECH委員会2022)

# TURE-TECH事業の概要

令和4年6月報告済み

## 事業概要

- ・ソフトバンク(SB)が実施する地方創生インターン事業
- ·SBは人材発掘の機会を、自治体は 優秀な学生から地域課題の解決の提案を、 学生は学びの機会を得る3者にとって Win -Winのモデル事業。



・例年2,000名を超す学生応募の中から選考された約30名の学生が自治体に滞在し、フィールドワークを中心に地域課題解決策をまとめ、首長に直接提案するもの。

#### 役割分担

※令和3年度… 嘉麻市及び愛媛県新居浜市で実施。応募学生は2,479名。

※令和4年度… 嘉麻市及び愛媛県新居浜市で実施。応募学生は3,009名。

区分	事業運営	費用負担
ソフトバンク	社員が事業期間中に自治体に滞在 し各種調整を行う。	学生・社員の宿泊滞在費など、運営に必要な経費
自治体	地域課題の解決に向けた学生のサポートや研修場所の確保など	学生等の送迎費(移動手段) ・近隣空港等拠点⇔宿泊場所⇔研修場所 ※SBに支払う金銭的な負担はない

## 実施体制

令和4年6月報告済み

### 実施体制

## 事務局

## 嘉麻市へTURE-TECH委員会2022

統括リーダー	原田人事秘書課参事	
副リーダー	小林地域活性推進課長	高井産業振興課長補佐
メンバー (サテライトオフィス関 係職員)	篠崎産業振興課長 松隈地域活性推進課長補佐 福丸民間活力導入MG 大村企画財政課長 穴見企画調整係長 小泉シティプロモーション推進員	松岡企業誘致係長 山口地域整備係長 縄田人事秘書課長 宮田企画財政課長補佐 児玉企画調整係主任

R3年度は学生として参加(Eチーム)し、市長にプレゼンを行った

#### 課題解決サポート職員

- ・職員人材育成等の観点から、本事業を職員研修事業として位置づけ
- ・1 チーム職員4~7名で構成 ➡ 5チーム合計28名が参加 (課題提案職員、課題関係課職員、参加希望・公募職員、若手職員など)

### 令和4年度ツレテク

## 地域課題 令和4年6月報告済み

## 選考経過

·職員公募(応募期間:R4.1.13~1.28) → 12課題応募

·1次選考(書面審査: R4.2.8~2.9) → 12課題選考

·最終選考(市長選考: R4.4.25) → 5課題選考

#### 実施課題(5)

チーム	地域課題のテーマ		
А	九州りんご村の後継者不足について		
В	地域コミュニティ活性化		
С	里山整備と有害鳥獣 → 竹と戯れ里山整備	《令和4年8月》 題名変更	
D	農業と福祉(障がい者や高齢者)の融合。		
E	デマンド運行型バスのアプリ予約件数増加に向ける	た取り組みについて	

※応募された地域課題は別添資料を参照ください

# 実施(8月)

#### 実施方法

#### フルオンライン(非現地)開催(新型コロナウイルス感染症第7波のため)

- ・学生及び学生を指導するソフトバンク社員は非現地からビデオ通話等を活用
- ・職員は、インタビュー対象者へ訪問し、学生と現地をオンラインで繋ぐなど、学生をサポート
- ・事務局のソフトバンク社員3名は嘉麻市庁舎で業務

## 2022年8月20日(土) ~ 8月26日(金)

実施期間

·事前研修: 8月20日(土)

・課題取り組み: 8月21日(日)~8月24日(水)

・市長プレゼン: 8月25日(木)場所:なつき文化ホール(来場者44名)

·事後研修: 8月26日(金)

参加者

主催者側 44名: 学生30名、ソフトバンク社員14名(事務局4名含む)

市職員 40名: 地域課題チーム28名、講評者12名





#### 地域課題解決策提案の採択状況

#### (参考) ツレテク2022のホームページ

チーム	地域課題名	課題仕様書	学生グループ名	提案書	プレゼン結果
A	九州りんご村の後継者不足について	<u>仕様書</u>	KAPPLE	提案書	前向きに検討
В	地域コミュニティ活性化	<u>仕様書</u>	自他の木	提案書	採択
С	竹と戯れ里山整備	<u>仕様書</u>	SOUZOU	提案書	前向きに検討
D	農業と福祉(障がい者や高齢者) の融合	<u>仕様書</u>	ゆもまるペ 5人はプリキュア	提案書	採択
E	デマンド運行型バスのアプリ予約件数 増加に向けた取り組みについて	<u>仕様書</u>	ペンギンの湯	提案書	採択

#### 採択結果に基づく市の方針

- 「採択」となった地域課題解決策は、必要に応じて関係課で予算化し、事業を推進する。
- 「前向きに検討」となった地域課題解決策は、関係課で事業化に向けた検討を行う。

# 嘉麻市での事後研修(1月)

## 実施方法

#### 嘉麻市での現地開催

- ・8月にオンライン参加した学生やソフトバンク社員が、嘉麻市現地で地域課題に関係した場所や市民を訪問し、嘉麻市の地域課題の見識を深める。
- ・職員は、現地を案内し、関係者・学生等と課題解決等の意見交換を行う

### 2023年1月7日(土) ~ 1月8日(日)

•1月7日(土) 全体行動:

福岡空港 → 嘉麻市内 → イチゴ農場(山野) → 養蜂場(上山田)

→ 宿泊施設(カホアルペ)

・1月8日(日) 各チーム行動(下表) → 道の駅うすい → 福岡空港

#### 実施期間

Aチーム	益富城址、森の駅秀芳園、大里酒造、果樹園現地、華香園、バス来る嘉麻
Bチーム	山田活性化センター、旧上山田線線路跡地、白木牧場、熊ヶ畑小学校、白雲荘
Cチーム	正人どんの郷、いいかねPalette
Dチーム	遠藤ブドウ園、沖出古墳、益富城址、小次郎の里
Eチーム	城山、大里酒造、梅林公園、市役所本庁

参加者

主催者側 33名: 学生19名、ソフトバンク社員14名 市職員 27名: 地域課題チーム22名、事務局5名

# 事業実施評価

事業評価: 期待どおり

## 評価項目

項目	効果	評価
①交流人口の拡大	【学生、ソフトバンク社員アンケート】 (参加前)ほとんどの参加者が嘉麻市を知らない、よく知らない (参加後)ほとんどの参加者が、嘉麻市を好きになった、応援し たい、行ってみたいと思う と回答	期待どおり
②優秀な学生からの 地域課題解決の提案	採択3案、前向きに検討2案(前年度同様) 【市職員アンケート】 提案内容は職員全員が「よかった」以上の評価をしている	期待どおり
③職員の人材育成	【市職員アンケート】 職員のほとんどがTURE-TECH事業の実施に満足し、TURE- TECH事業から得たものがあると評価	期待どおり
④市民との協働	市長プレゼン(8/25)に地域課題に関係する市民6名が参加 【関係者(市民等)アンケート】 事業に対しよい評価、今後の同種事業に対する協力の意向	期待以上

# 参考資料①(アンケート)

#### 評価項目:交流人口

#### 学生・ソフトバンク社員アンケート (N=29)

(実施前)参加者のほとんどが嘉麻市を知らない、よく知らない → (実施後)参加者のほとんどが、嘉麻市を好きになった、応援したい、行ってみたい

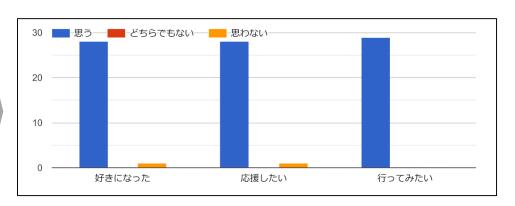
#### ・TURE-TECH事業以前の嘉麻市の認知

項目	回答数
嘉麻市に行ったことがあった。	0
嘉麻市に行ったことはなかったが、市の事をよく知っていた。	1
嘉麻市の市名のみ知っていた。	4
全く知らなかった。	24

82.8%	<ul><li>嘉麻市に行ったことがあった。</li><li>嘉麻市に行ったことはなかったが、市の事をよく知っていた。</li><li>嘉麻市の市名のみ知っていた。</li><li>全く知らなかった。</li></ul>
13.8%	

#### ・TURE-TECH事業以後の嘉麻市の印象

	項目	好きになった	応援したい	行ってみたい
	思う	28	28	29
7	どちらでもない	0	0	0
	思わない	1	1	0



#### 評価項目:職員満足度

#### 市職員アンケート (N=21)

提案内容は全員が「よかった」以上の評価、TURE-TECH事業全体についても ほとんどが「よかった」以上の評価

・学生の提案についてどう思いましたか

項目	回答数	構成比
とてもよかった	11	52%
よかった	10	48%
あまりよくなかった	0	0%
よくなかった	0	0%

全員が 「よかった」より 上の評価 ・TURE-TECH事業全体についてどう思いましたか

項目	回答数	構成比	
とてもよかった	7	33%	
よかった	13	62%	
あまりよくなかった	0	0%	
よくなかった	1	5%	

95%が 「よかった」より 上の評価

#### 評価項目:職員人材育成

市職員アンケート (N=21)

ほとんどの職員がTURE-TECH事業から得たものがあると評価

・TURE-TECH事業に関わって何か得るものがありましたか

項目	回答数	構成比
あった	20	95%
なかった	1	5%



・得たもの(自由紀述)

#### ●主なもの

#### 【課題解決手法】

・短期間での課題解決の取り組み手法

#### 【振り返り】

- ・学生が課題に取り組む姿を見て、改めて自分が業務に取り組む姿勢を見直すことができた。
- ・学生が一生懸命に課題解決しようとする姿を見て自分ももっと市に貢献する働きをしなければと考えさせられました。
- ・改めて嘉麻市に向き合えたこと、地域の方の想いを知ることができた

#### 【モチベーション】

・今回ツレテクに参加して地域課題を解決するという取り組みに参加できて、市役所で働いて るのだなと実感できて仕事に対するモチベーションも上がった。

#### 評価項目:市民との協働

#### 関係者(市民等)アンケート(N=21)

市の取り組み内容は全員が「よかった」以上の評価。今後、市が同種事業を実施する際も「協力する」と回答

・今回、嘉麻市が学生と一緒に地域課題の解決策に 取り組んだ事業(TURE-TECH)について

項目	回答数	構成比
とてもよい	4	57%
よい	3	43%
あまりよくない	0	0%
よくない	0	0%

✓ 全員が | 「よかった」より | 上の評価 ・今後、嘉麻市が同種の事業を実施する場合、同じようにご協力いただけますか

項目	回答数	構成比
協力したい	7	100%
協力したくない	0	0%

**← 全員が** |「協力したい」 | との意向

- ・今回の取組について感想がありましたらお聞かせください。(自由記載)
  - ・オンラインとなって、学生の方々が現場を見ず計画してくれたことについて大変だったと思います。問題解決は現場にあり。これも、是非、地域活性化に 若い人の目が必要で有り、市としても、高齢化に対する具体策を出すに参考にして、対策するにも時間は余りないと思います。「ツレテク」の今後も継続 されることを望む
  - ・インターシップオンライン開催初めてのことでしたが、これからも協力したいと思っています。現在、小、中、高、大と、少人数の利用者ですが、もっと増えればと願っています。60~70代アプリ予約にしても、イベントをかさね、説明会も増やし続けることにしても協力させていただきたいと思っています。
  - ・嘉麻市で暮らす私の視点と、嘉麻市を外からみて質問や意見を出してくれる学生さん達と話ができて、刺激になりました。印象に残った質問は、私が周りの人に誘われて、いくつかの地域の団体に所属していると話したら、「地域のコミュニティに参加するのは、人との関わりを求めて。という風に聞いたのですが、違うんですか?」と言われたことです。この質問で、「え?そうなの?」と思いましたが、考えていくと地域コミュニティは、それぞれの年代によって存在の意味が違うんだなと、気づきました。インタビューの時間が1時間と決まっていたので、話を終わらせましたが、本当は、もっと話したかったです!!ッレテクのみなさんが嘉麻市に来てくれるのを、強く希望します!!!
  - ・とても良い取り組みだと思います、頑張ってください
  - ・学生の皆さんが本当に一生懸命にやってくれて、大変ありがたかったです。皆さんと会って話してみたい。

# 参考資料②

● ソフトバンク社 TURE-TECHホームページ

https://ture-tech.com/

- ●嘉麻市 ホームページ
  - ◆TURE-TECH 開催レポート(R4実施分)ホームページ <a href="https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/2/turetech2022.html">https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/2/turetech2022.html</a>
    - ・課題解決仕様書、課題解決策などを掲載しています。
  - ◆TURE-TECH 開催レポート (R3実施分) ホームページ https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/8/23161.html
    - ・課題解決仕様書、課題解決策などを掲載しています。